

湘南大庭地区社会福祉協議会

福祉のたより

事務局 藤沢市湘南大庭市民センター 電話 (87) 1111

湘南大庭地域の人口 31,628人 世帯数 11,875世帯 (2008年11月1日現在)

育てよう 広げよう 福祉のこころ

社会福祉協議会(略して「社協」)は、私たち地域住民が自主的に参加して組織をつくり、活動に必要な資金を調達し、お互いに役割を分担し協力して活動を行い、地域の福祉を増進することを目的とする民間団体です。

私たちの社協を私たちの手で協力して育み、湘南大庭地区を福祉のゆきとどいた地域にしようではありませんか。

湘南大庭地区福祉ボランティア活動センター

『ライフタウン・ジョワ』オープン!!



11月11日(火)午前10時20分より、当協議会が運営を行う『福祉ボランティア活動センター(ライフタウン・ジョワ)』の開所式が、事務局を設置する「ジャスコ藤沢店」前広場で開催されました。時折の木枯らしの中、開所式を盛り上げるために、まず「スイング・バード」のジャズ演奏と「しろやま鼓楽座」の和太鼓演奏が元氣に行われました。第2部は式典。西島恒博社協会長の主催者挨拶に続き、花上誠一副市長、川口富作自治会連合会会長、そしてジャスコの母体であるイオンリテール(株)関東カンパニー神奈川事業部長の赤木博氏より祝辞をいただきました。

その後、内藤事務局長からボランティア及び事務局員の紹介、そしてボランティアを代表して高木幸夫氏が決意と抱負を含め挨拶を行いました。多くのボランティアの方、そしてジャスコへお買い物にいられた方々が見守る中で、社協積年の思いのこもった福祉ボランティア活動センターは無事船出いたしました。



今後は、福祉ボランティア活動センターのPRと精力的な活動展開が図れることが望まれます。湘南大庭地区にお住まいの皆様、どうぞ『福祉ボランティア活動センター(ライフタウン・ジョワ)』に大きな期待を抱いていたどくと同時に、温かく見守ってください。

『福祉ボランティア活動センター(ライフタウン・ジョワ)』の概要

①運営方法等

主体は湘南大庭地区社会福祉協議会です。ボランティアの担い手(支援会員)と受ける方(利用会員)がそれぞれ年会費300円を納入、社協予算や各種補助金等と合わせて運営資金とします。

②活動日

◎事務局 毎週月・水・金曜日 午前10時〜午後3時(祝祭日・年末年始を除く)

◎ボランティア(支援会員) 原則として毎日。午前10時〜午後5時(年末年始を除く)



③利用するには？

事務局に電話等でご連絡又はお申込ください。

利用会員に利用申請書を提出していただきます。

相談員が支援内容を確認するため聞き取り訪問を行います。

支援可能の場合は相談員がボランティア(支援会員)を派遣します。
※支援不可の場合もあります。

支援が終了しましたらボランティア(支援会員)から利用会員へ終了の報告を行います。

④支援費用

支援費用は無償です。ただし、支援に係る交通費や材料費等の実費は利用会員に負担していただきます。

【問い合わせ先】

「福祉ボランティア活動センター(ライフタウン・ジョワ)」
※ジャスコ藤沢店3階

★電話・FAX

0466(86)1084

出来る時に出来ることを！
困りごとがございましたら、ジョワにご相談を。
ご連絡お待ちしております。

支援内容各項目の紹介

ライフタウン・ジョワは次の支援を行います！

◎手助けボランティア

★洗濯

通常家庭で行う内容と同程度の範囲の支援。

★掃除

日常の掃除や整理整頓に限り、大掃除に準じる事は行いません。



★買い物の付き添い

商品の選択や支払は利用会員にしていたいただきます。

★布団干し

原則として取り込み時刻は午後2時頃とし、天候を見ながら行います。



★外出の付き添い

同行時の交通費等は利用会員の負担となります。また、原則として身体介護はしませんし、散歩は2時間程度とします。

★庭の草取りや樹木剪定
樹木の剪定は脚立を使用しない範囲とします。



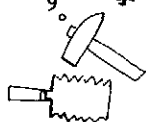
★薬の受取りや通院付き添い

交通費等は利用会員の負担となります。また、薬の受取りでは立替払はしませんので、代金は概算でお預りします。



★簡単な大工仕事や庭仕事

材料費など必要経費は利用会員の負担となります。



★電球交換

予備の電球がない場合、電球を購入しますので経費を概算でお預りします。



★花や樹木への水やり
なお、交換が出来る高さは2m以内とします。



◎経験や特技を活かしたボランティア

☆話し相手

実施時間は、概ね1時間程度とします。

☆囲碁・将棋等趣味の相手

実施時間は、最長2時間程度とします。



☆外国語の手伝い

実施時間は、最長2時間程度とします。

☆運動の手助け

軽い体操や散歩の指導又は付添とし、最長1時間程度とします。

☆携帯やパソコンの指導

実施時間は、最長2時間程度とします。



☆手芸・生け花の指導

実施時間は、最長2時間程度とします。

☆絵手紙・折り紙の指導

実施時間は、最長2時間程度とします。

☆その他の支援



★家具等の移動
★安否確認
★その他の支援

●ボランティア実務研修

10月10日(金)の午後6時30分から、および翌11日(土)の午前9時30分から、今後福祉ボランティア活動センター《ライフタウン・ジョワ》でボランティア活動を行う方を対象にした実務研修会が開催されました。

講師は福祉ボランティア活動センター事務局員がとめ、60名弱の登録メンバーから多くの方が出席して、活動に必要な事柄について研修を受講されました。

※受講者へのインタビュー

(60歳代男性) 人との交わりが大切と考え参加しました。妻が病に倒れ家庭内が暗くなつてしまい、人と笑いあえることの重要さを知りました。

(50歳代女性) ボランティアは全く初めてですが、何かお役に立ちたくて参加しました。明るく楽しく出来るよう願っています。

(40歳代女性) 10年以上前に当地へ引っ越してきて、大変お世話になりました。そのご恩返しに何かお役に立ちたくて参加しました。

(20歳代女性) 多くの人と関わりを持つことによつて自分を高めていきたいと思つています。

☆ボランティアの抱負

◎約3年の準備期間を経て、《ライフタウン・ジョワ》がスタートにこぎ着けました。

私達事務局員は、さらに幅広く利用会員の皆様のご希望に添うために、サービスの質の向上を考えております。

まず、手助けや支援の項目を増やすなどの「量」の拡大を図り、併せて、手助けできる「エリア」を広げ利用会員の皆様にとつて一層使い易い「ジョワ」にすることをも行つてまいります。

また、利用会員の皆様の増員するためPR活動も積極的に行つてまいりますので、皆様方のご理解とご協力をお願いします。

石井

◎聞き上手という方は話し相手に、運動が得意で一緒に身体を動かすことをしたいという方は運動の手助けをお願いします。
また、自分の持っている特技を生かし：例えば、仕事でパソコンを永く使っていた、将棋や囲碁が結構強い、絵手紙や手芸を永いこと勉強していた等、経験で培ってきた能力を利用会員の皆様に伝えたいと喜んでもらえる、その喜びが支援会員の元気を支えます。もう一つのジョワの輪が、早く根付いてほしいと思えます。

金子

★ボランティア体験談

◎足のご不自由なお年寄りの自宅の草取りをしてきました。

ほうき・熊手・鎌を自転車で持参しながら、ボランティア3名で1時間ほど行いましたが、小さな草は抜ききれませんでした。

しかし「スッキリしました！」と喜んでいただき、こちらも嬉しい気持ちで身も心もホコホコして帰ってきました。またのご用命をお待ちしてまいります。

汐谷

*事務局の紹介***

★ハロージョワです。

社協の新たな福祉活動として、《ライフタウン・ジョワ》が活動を開始しました。

『ジョワ』の意味は、助け合いの「輪」、又は「話」です。

『ジョワ』の活動目的は、高齢者や障がい者等の困りごとへの手助けや生きがいづくりへの支援を通して、明るく楽しい近隣生活をつくりあげることです。

『ジョワ』はボランティアとして支援・手助けを担って頂く方や、支援をもらう方からの会費の他、藤沢市愛の輪福祉基金や地区社協からの助成金で運営を行います。

現在、利用会員の受付を行つて

いますが、主な支援依頼は、庭の草取り、葉の受取り、家具の移動、パソコンの操作指導などです。50名を超えるボランティア(支援会員)が支援活動を行う時を心待ちにしています。

また、ボランティアをしたいという方も奮って参加して頂き、助け合いの輪も大きく広げようではありませんか。

『ジョワ』の事務局はジャスコの3階にあります。

ボランティア活動に関するご質問やご要望などがございましたら、遠慮なくお申し出ください。

事務局長 内藤惇之

◆支援状況

(11月30日現在)

- ①庭の草取り 3件
- ②家具の異動 3件

※聞き取り調整中の支援内容には家具の移動・パソコンの指導・葉の受取りがござります。



ジョワは、漢字の「輪」が、助け合いの輪を大きく広げていきたいと思います。

☆介護予防教室

毎回、申込開始後すぐに定員一杯となる大人気事業で、50歳以上の男女40名が参加して9月25日から4回コースで行われました。

◎第1回目は「健康ストレッチ」

藤沢市保健医療センターの高橋氏の指導により、下肢の筋力やバランス能力の測定や転倒予防を主眼とした運動を行いました。

◎第2回目は「口腔ケア」

藤沢歯科医師会の鈴木医師から「生涯現役の口福作戦」と題し、「食べることに、話すこと、唾液の働き」等、口腔機能ケアの重要性について学びました。

◎第3回目は「シニアビクス」

神奈川県エアロビクス連盟の関口インストラクターから若々しい姿勢や歩き方を指導していただきました。エアロビクス風♪365歩のマーチは楽しかったです。

◎最終回は「ヨガ体験」

ジャパン・ヨガアカデミーの今津インストラクターから強い体質を作り集中力が養われる片鼻呼吸法や、姿勢が良くなり背中・腰・お尻が美しく引き締まるという飛行機のポーズ等のエクササイズを行いました。

今回の参加者は50〜70代の女性が大半でしたが、男性ももつと参

加されたらいかがでしょうか。大変わかり易く、どなたでも安心して参加できますよ！

2月〜3月にもう1回開催される予定ですので、どうぞ奮ってご参加ください。



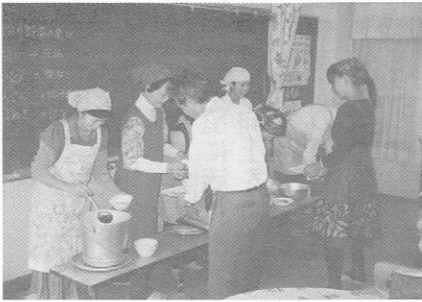
☆学校給食試食会

11月5日の昼、小糸小学校のランチルームで開催され、青少年対策部会委員等13名が参加しました。

新井校長や栄養士の方から昨今の給食状況について

お話を伺い、改めて給食の有り難さを実感しました。

味も大変美味しく、栄養価等に気を遣った内容でした。



小糸小学校では、地場産物や米飯給食を増やし、楽しい給食を目指しています。

☆裁判員制度説明会

主催 湘南大庭地区自治会連合会

10月6日の夜、市民センターで自治会長等約80名が参加して開催されました。

初めに俳優の中村雅俊監督のドラマ「もしあなたが裁判員になったら」を観て、その後横浜地方検察庁の大石広報官が説明を行いました。多くの方から質問が出され、予定時間を越えてしまうほどでした。

藤沢市内でも12月までに候補者834名が決定するそうです。誰もが裁判員になる可能性がありますが、法律知識の有無に拘わらず、自分の視点、感覚等で参加すればよいそうです。

☆福祉バザーの結果

今年も10月25日(土)と26日(日)の両日、第23回湘南大庭ふるさとまつりにおいて「福祉バザー」を実施いたしました。天候は今ひとつでしたが、寄贈

品数4278点に対して売上金は70万円を越えました。物品を提供していた方、バザーに従事していただいた方、バザーに厚くお礼申し上げます。

なお、収益金は主に地区内の福祉関係施設・各種ボランティア団体等に寄付金として贈呈するとともに、地区内の寝たきり高齢者や在宅重度障害者の皆様にお見舞い品としてお配りいたします。



◆あとかぎ◆

前号に続き、48号も福祉ボランティア活動センター「ライフタウン・ジョワ(助輪)」の特集を組みました。その名の通り、助け合いの輪が広がっていったらと思います。

櫻井